



7. EPPS 心理検査解析サポートプログラムの使用

7.1. 作業手順

作業には、検査入力、結果分析、ファイル操作の 3 ページが用意されています。被検査者 1 名分についての作業は、以下の手順で行います。検査入力ページから結果分析ページへの移動ならびにファイル操作のファイル呼び出し時以外のページの切り替えには、各ページの右側にあるページ名またはその左のオプションボタンをクリックします。選択されているページ名の左のオプションボタンには[●]が表示されています。

1. 通常の場合の手順は、

の手順で行います。

2. 既に保存された結果を確認する、またそれを印刷する場合の手順は、

の手順で行います。

3. へ移動して入力されたデータを確認することは可能ですが、データを変更することはできません。

7.1.1. 検査入力ページの作業について

検査入力のデータ入力は常に次に入力すべき項目が確認できるようになっています。

検査入力の作業は、2 カテゴリのデータ入力を行います。カテゴリ 1 から 2 に順番に入力できるようになっています。

カテゴリ 1: パーソナルデータ入力

カテゴリ 2: 検査データ入力

EPPS 心理検査解析サポートプログラムが起動された状態では、[Group#]の入力ボックスのみが開いており、その中の文字入力カーソルが点滅しています。

検査入力中に入力したデータを破棄して新しいデータの入力を始めたい場合は、[Reset] ボタンをクリックします。

7.1.2. 検査入力(カテゴリ 1: パーソナルデータ入力)

[Group#]、[Name]、[Sex]、[Year]、[Month]、[Day]、[Education]、[Marriage]、[Age]を順番に入力します。([Year]、[Month]、[Day]: 検査年月日)

一つの項目の入力が完了すると次に入力する項目の入力ボックスが開き、入力ボックスの中のカーソルが点滅します。

[Group#]と[Name]の項目はキーボードからテキストを入力し、[Enter]キーを押します。項目の入力が完了すると、入力確認音が鳴ります。

それ以外の項目は入力ボックスの右に付けられた[]ボタンをクリックし、表示された候補の中から適当な候補をクリックします。候補の数が多い項目は候補の右側のスクロールボタ



ンでスライドさせてそれ以外の候補を表示させ、適当な候補を探してクリックします。
[Age]まで入力完了すると、以下の確認メッセージウィンドウが表示される場合があります。

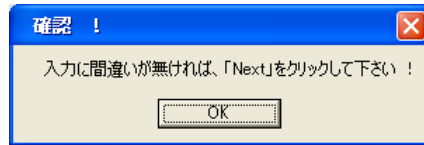


図7-1 パーソナルデータ入力確認ウィンドウ

その場合は[OK]ボタンもしくはキーボードの[Enter]キーをクリックすると、図 7-1 のウィンドウは消え[Next]ボタンをクリック出来る状態になります。

入力されたパーソナルデータを確認した後で、[Next]ボタンをクリックします。
パーソナルデータの修正が必要な場合は、マウスカーソルを修正する箇所に移動させ入力時と同様の操作で修正を行います。

[Next]ボタンがクリックされると、検査入力(カテゴリ 1: パーソナルデータ入力)は完了し、次のような検査入力(カテゴリ 2: 検査データ入力)の状態になります。

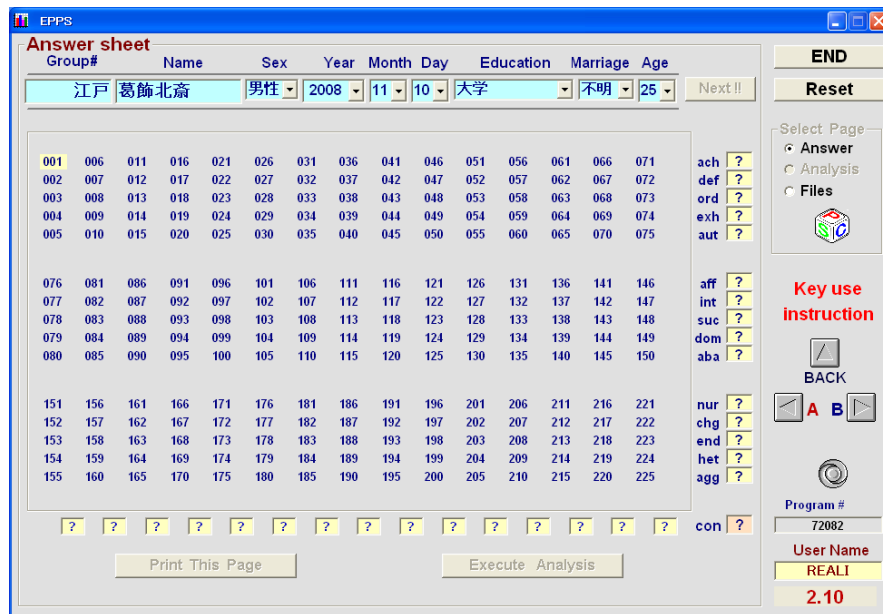


図7-2 パーソナルデータ入力ウィンドウ

7.1.3. 検査入力(カテゴリ 2: 検査データ入力)

検査データ入力の状態に入ると検査番号(最初は[001])が点滅します。

点滅する検査番号の結果を[Key use instruction]で示された入力ボタンをクリックして入力していきます。

Key use instruction:

- [△]: 一つ前の入力に戻る
- [◁]: A を入力する
- [▷]: B を入力する



[Key use instruction]のボタンに対応するキーボードのカーソルキーを使用することもできます。

検査番号が5の倍数を入力すると、確認音が鳴り新たに次の列に移りますので、その都度入力の確認を行います。

入力途中の画面は次の図のようになります。

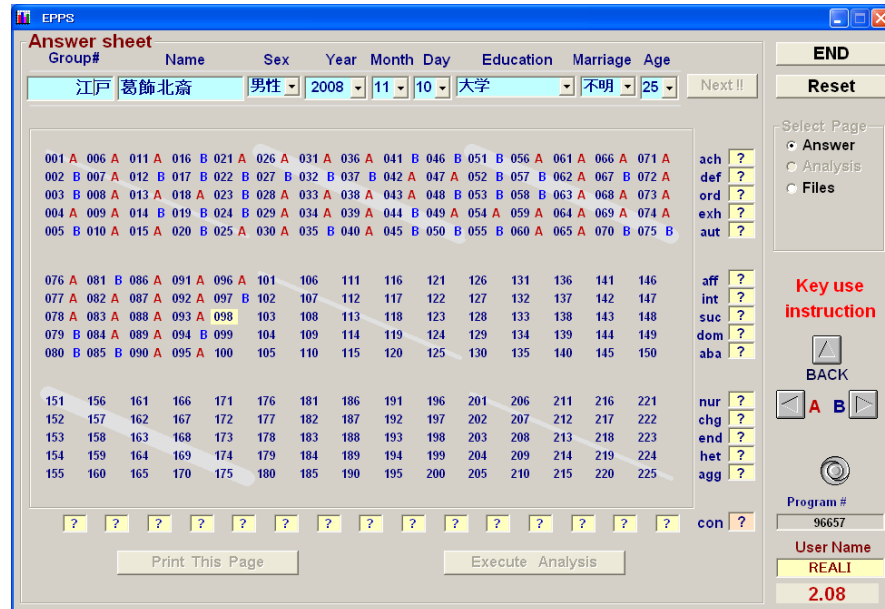


図7-3 検査データ入力中のウィンドウ

検査番号 225 迄入力すると以下の確認メッセージウィンドウが表示されます。

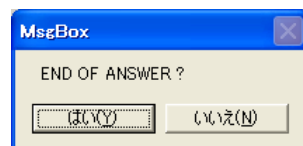


図7-4 検査データ入力完了確認ウィンドウ

[はい]ボタンまたはキーボードの[Enter]ボタンをクリックすると、検査入力データが確定し、[?]の箇所の結果が確定します。[Key use instruction]のボタンは消えます。

[いいえ]ボタンをクリックすると、前の状態に戻りますので[Key use instruction]ボタンまたはキーボードのカーソルキーを使用して、入力の修正を行います。



図7-5 検査入力完了ウィンドウ

検査入力完了ウィンドウになると、[Print This Page]と[Execute Analysis]ボタンが使用可能となります。

記入回答入力データの印刷を行いたい場合は、[Print This Page]ボタンをクリックすると以下のウィンドウが表示されます。



図7-6 印刷確認メッセージウィンドウ

[はい]をクリックすると、通常使用するプリンタと設定されたプリンタにてA4縦で記入回答入力データの印刷が行われます。

[いいえ]をクリックすると、印刷はキャンセルされます。

[Execute Analysis]ボタンをクリックすると、データは保存され、図 7-7 のような解析結果のページが表示されます。

7.1.4. 結果分析ページの表示について

結果分析のページは、[Personal DATA]、グラフ、[判定]、[Comments]の部分で構成されています。

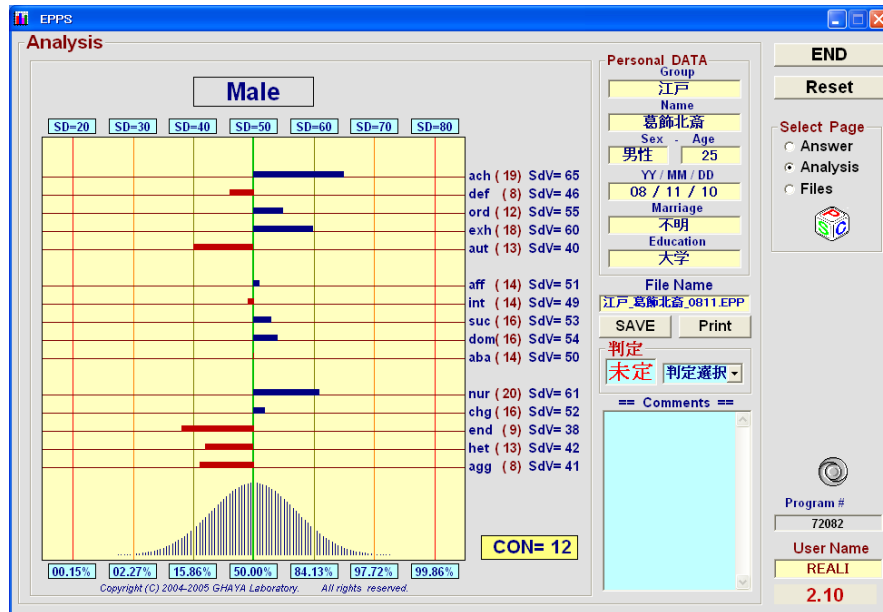


図7-7 結果分析のページウィンドウ

データの確認

[Personal DATA]、グラフの表示を確認します。

入力データの確認を行う場合は、ページの右側にあるの[Answer]ボタンまたはその左のオプションボタンをクリックして検査入力完了ページへ移動します。

判定の入力

[判定]の[判定選択]の右の[]ボタンをクリックし表示された判定から該当する判定結果をクリックして入力します。

コメントの入力

[Comments]のテキストボックスをクリックします。

テキストカーソルが現れ、コメントを入力できるようになります。

データの保存

[SAVE]ボタンをクリックすると、以下の保存確認メッセージウィンドウが表示されます。

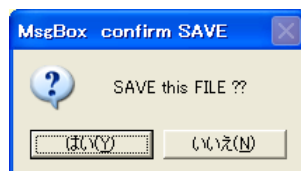


図7-8 保存確認メッセージウィンドウ

保存を行わない場合は、[いいえ]ボタンをクリックします。保存確認メッセージウィンドウは消えます。



保存を行う場合は、[はい]ボタンをクリックまたはキーボードの[Enter]キーを押します。保存が完了すると以下の保存完了メッセージが現れます。



図7-9 保存完了メッセージウィンドウ

[OK]ボタンをクリックします。保存されたファイルに関しては、8. 章のファイル操作ページならびにファイルの取り扱いについてを参照願います。

印刷

[Print]ボタンをクリックすると以下のウィンドウが表示されます。



図7-10 印刷確認メッセージウィンドウ

印刷をキャンセルする場合は、[いいえ]をクリックします。印刷確認メッセージウィンドウは消えます。

印刷を行う場合は、[はい]をクリックまたはキーボードの[Enter]キーを押します。通常使用するプリンタと設定されたプリンタにて A4 縦で結果分析の印刷が行われます。

ファイル操作ページへの移動

ファイル操作ページへの移動は、ページの右側にある[Files]またはその左のオプションボタンをクリックします。